

<みよみよ はればれ まんなか>



# 美花果 便り



Vol.61

## 都筑の町のほほまんなかで

～その 61～

「毎日難儀なことばかり～♪」で始まる、朝ドラ「ばけばけ」の主題歌があります。ハンバートハンバートというご夫婦で歌っているグループです。最近その歌が耳から離れません。車を運転しながら、ついつい口ずさんでしまいます。人生って楽しいことの方が少ないかもしれません。毎日毎日大変で、難儀なことばかりです、そう、日々生きるってそんなものだよね、生きること自体が難儀だよな、なんて思いながら歌っています。

さらにこの歌の2番の歌詞には「野垂れ死ぬかもしれないね～♪」とあり、う～む確かに、今の時代ではそんなことはめったにないかもしれないけど、昔は野垂れ死ぬことだってあったよね、そのくらい生きていくってそもそもリスクはたくさんあるわけで、一日を無事に終えることができただけでもそれはもう感謝、感謝です。

日々食べるに困らない、安全な社会は当たり前にあるわけではありません。成熟した日本社会では当たり前のように保証されていますが、それは社会情勢の変化や気象の変化で容易に崩れます。遠く離れた国の戦争も、私たちの日々の生活に大きく影響します。そんなことを考えながら、ニュースに耳をそばだてています。

ある利用者さんが言われました。「生まれてきたんだから、生きていくしかないじゃない。」毎日難儀なことばかりでも、楽しいことはたまにしかないとしても、生きていきましょう！

松田

## みよみよ看護

【訪問看護ステーション】



看護の新規、  
若干受けること  
ができます。

住所: 〒224-0033

横浜市都筑区茅ヶ崎東 4-9-18

電話: 045-949-6277

FAX: 045-949-6278

メール: [miyomiyo@ni-care.jp](mailto:miyomiyo@ni-care.jp)

ホームページ: <http://www.ni-care.jp/>

「看」という文字は、手をかざしてよく見るという意味合いがこめられています。

中国の禅僧が我々の中に存在する宝を見極めよ、という意味で「看看(みよみよ)」といっているところから名前をつけました。

皆様の心の中にある宝物を大切に、お家での生活を支えます。

## 【里山ガーデン】

年に2回春と秋に開催される里山ガーデンを知っていますか?里山ガーデンは、横浜市旭区にある大規模な花と緑の公園で、特に季節ごとの花の景観が楽しめるスポットとして知られています。

2017年に開催された全国都市緑化よこはまフェアの会場の一つとして整備され、その後も継続的に公開されています。



園内の最大の特徴は、広大な敷地に広がる「大花壇」です。春と秋にはテーマに沿って色とりどりの花が植えられ、ネモフィラやチューリップ、コスモスなどが一面に咲き誇ります。特に春は鮮やかなパッチワークのような花畑が広がり、多くの来園者を魅了します。また、里山の自然を生かした散策路や芝生広場も整備されており、家族連れや写真愛好家やペット連れにも人気があります。

私は毎年必ず散歩がてら里山ガーデンのお花を見に行きます。今年の春も行ってきました。ゴールデンウィーク頃は気候がよく、公園内は沢山のこいのぼりが空を泳いでいます。また隣にズーラシア動物園もあるのでとても賑わいます。春の開催はゴールデンウィークで終わりますが、みなとみらいでガーデンネックレスもあります。こちらは港の景観+花を同時に楽しめるのが最大の特徴で 桜 → チューリップ → バラと、3月下旬~6月頃まで長期間楽しめます。私のお勧めはこれからのバラです。ぜひ行ってみてください。

事務 木村麻恵

## 『冬のアゲハ』

去年の10月頃、枝ごと落ちていた多分蝶であろう蛹を拾って来て、虫籠に入れて部屋の片隅に置いていた。秋に蛹になった蝶は越冬するらしい。漠然と、春になったら羽化するのか…と思っていた。が、正に冬季オリンピック開催の日に、静かに羽化が始まった。暖かい部屋の中にいたので、早めに羽化したようだ。私の目は蝶に釘付け。生命の神秘を見られるなんて…感動! 綺麗なアオスジアゲハだった。



しかし…狭い籠では可哀そうと大きな籠を買って来て移した翌日、朝中を覗くと、小枝の影で枝に寄りかかり息絶えた蝶がそこにいた。蝶になってたったの5日の命だった。

4月に入った暖かい日、飛び交っている蝶を見た。胸がギュツとなる。暫くぶりの感覚だ。

厳しい冬に耐え、越冬し羽化した蝶々たち。スゴいよね、と思わず声が漏れた。

Y.Y